

循環温浴システム

コロナホーム

ジュニアⅢ

CKV-231H

- このたびはお買い上げいただきありがとうございます。
末ながく、安全に、正しくご使用いただくために、この小冊子をよくお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。
- この説明書にでてくる重要警告事項の部分は、製品を使用する前に注意深く読み、よく理解してください。
- 正しい設置をされなかった場合、また正しく使用されなかった場合の製品の故障、事故については当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。

ご使用前に本機の各部に異常の無いことを必ず確認して下さい。

また、各部に亀裂、破損、へこみ、曲がり、ゆるみなどの異常が生じた場合は使用しないでください。




もくじ

1	安全のために必ずお守りください.....	3
2	各部のなまえ.....	10
	●本体	
	●泡出しユニット	
	●操作パネル	
	●付属品	
3	設置のしかた.....	13
	●電気工事	
	●本体の設置	
4	操作のしかた.....	18
	●運転の手順	
	●準備運転	
	●むかえ水の方法	
	●各機能	
5	点検とお手入れ.....	26
	●日常の点検	
	●日常のお手入れ	
	●トップフィルターの洗浄	
	●ろ過材の洗浄	
	●配管の洗浄	
	●紫外線ランプの交換	
	●長期間使用しないとき	
6	異常とその処置.....	30
	●エラー表示一覧	
	●症状/原因/処置	
7	アフターサービス.....	32
8	仕様.....	33

1 安全のために必ずお守りください

☆ご使用前にこの項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損失を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

●図記号について次のような意味があります。

 一般的な警告・注意事項 (危険・警告も含む)	 必ず行う
 一般的な禁止	 電源プラグを抜け
 分解禁止	 アースを接続せよ

ご購入にあたって

- ご購入時には「保証書」「取扱説明書」を必ず受け取って大切に保管してください。お届けされていない場合や、紛失されたときは、販売店にご請求ください。
- ポリエステル系人工大理石浴槽など一部の浴槽には浴水を長時間ためて継続使用しますと浴槽表面に膨れ、荒れ、変色の起こる場合があります。ご購入の際に販売店にお確かめください。
- 浴槽の金属部にステンレス製の部品以外を使用しないでください。排水口やチェーンなどの金属部は、水質によりメッキがはがれてサビることがあります。
- 機種や工事方法、システムを選定するときは販売店とよく相談のうえお決めください。

警告

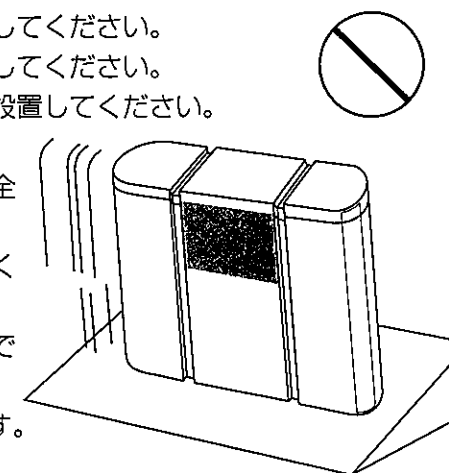
設置について

- 本機の設置、移動はお買い上げの販売店に依頼してください。
- 本機は電気工事などが必要です。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。
- 専用回路の増設、契約アンペアの変更は別途料金となります。販売店と予めご相談ください。
- 改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

警告

設置条件

- 屋内（浴室等の排水できる場所）に設置してください。
- 水漏れがあっても支障のない場所に設置してください。
- シャワー等の水が直接かからない場所に設置してください。
- 水平で安定した場所に設置してください。
- 壁に埋め込んで設置する場合、本体が完全に隠れてしまわないようにしてください。
- 浸水の恐れのある場所には設置しないでください。
- 落下物の恐れのある場所には設置しないでください。
- 浴槽の容量は最大300リットルまでです。

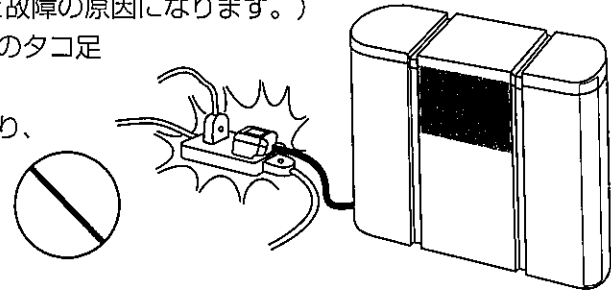


1 安全のために必ずお守りください

警告

電源について

- 本体に表示してある電源（電圧、周波数）を使用してください。（表示以外の電源を使用すると故障の原因になります。）
- 専用電源を設け、他の機器とのタコ足配線をしないでください。
- 電源コードを途中で切断したり、継ぎ足ししないでください。



警告

アースの接続

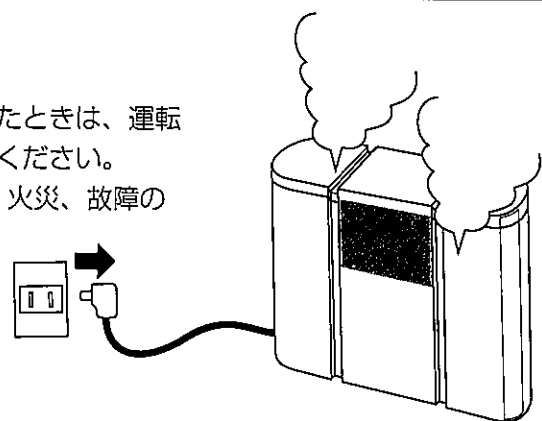
- 必ずアースを接続してください。（アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。）
- アースはガス管、水道管、電話のアース線等に接続しないでください。



警告

異常時

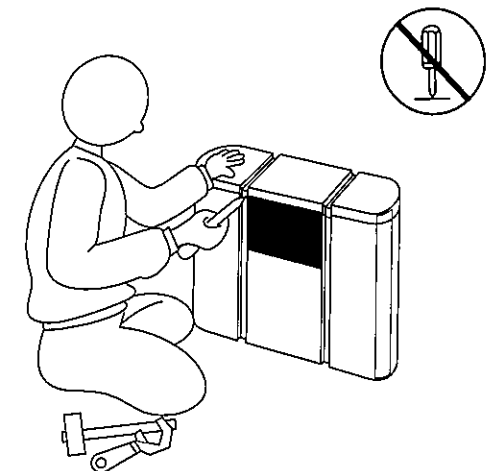
- 使用中に異臭がする等の異常を感じたときは、運転を停止して漏電保護プラグを抜いてください。（異常のまま運転を続けると、感電、火災、故障の原因になります。）



警告

分解禁止

- 本機の分解、改造をしないでください。（故障や誤作動の原因になります。）
- 電源コードを途中で切断したり、継ぎ足ししないでください。（断線や接触不良などにより、感電、火災、故障の原因になります。）



警告

使用上

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。誤った取扱いをすると、人身事故（レジオネラ感染症を含む細菌感染など）や家財の損害に結びつく恐れがあります。
- 入浴中にフィルターを取り外さないでください。
- 入水口、出水口をふさいだり、手や足等を入れたりしないでください。
- 入水口、ジェットノズル付近に潜ったりしないでください。（特に子供には注意してください。）
- 50℃以上の熱湯を入れないでください。
- 入浴以外の目的で使用しないでください。
- 急性疾患、悪性腫瘍、高熱、心臓障害、妊娠されている方、体調に異常を感じた場合は使用を中止し専門医に相談してください。
- 本機の使用中は1日中浴槽に水が満たされています。子供の転落にはくれぐれもご注意ください。
- 長い髪の毛は束ねるなどして、入水口に髪の毛が吸い込まれないよう注意してください。
- 泡出しユニットに接続しているホースを外さないでください。浴槽内のホース部分は固定しないでください。

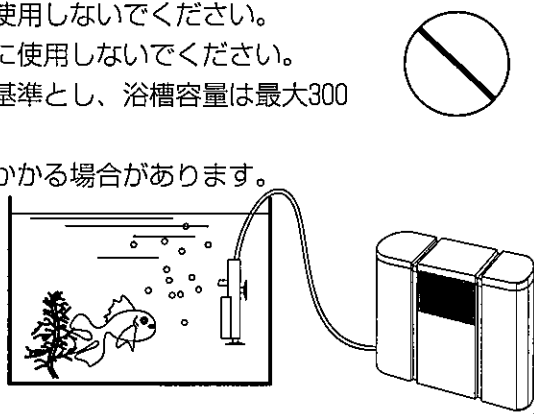


1 安全のために必ずお守りください

⚠ 注意

用途

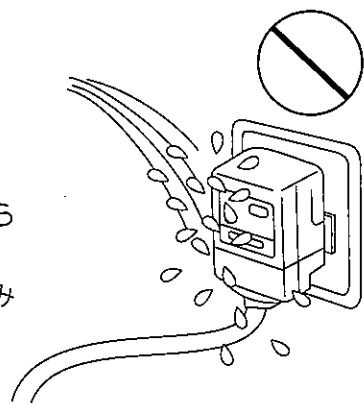
- 本機は浴水の浄化、保温以外の目的に使用しないでください。また、浴水は飲用等の入浴以外の目的に使用しないでください。
- 本機は一般家庭用で平均3~5人/日を基準とし、浴槽容量は最大300リットルです。
- 入浴のしかたによっては浄化に時間がかかる場合があります。
- 多人数で使用した場合、浄化性能が悪くなる場合があります。
- 水道水を使用してください。ただし、飲み水に使用可能な井戸水は使用できます。



⚠ 注意

漏電保護プラグと電源コード

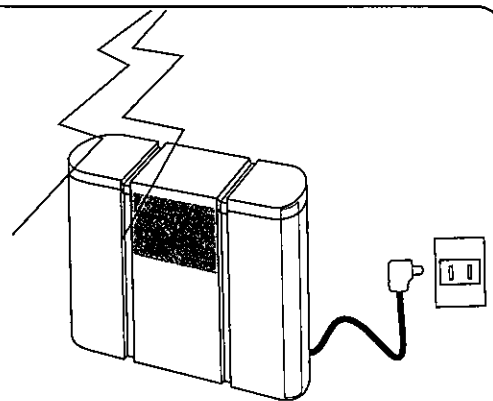
- 漏電保護プラグの差し込みは確実に行ってください。
- 濡れた手で漏電保護プラグに触れないでください。
- 漏電保護プラグに水をかけないでください。
- 漏電保護プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
- 電源コードを束ねたり、無理に曲げたりドア等に挟み込んだりしないでください。
(断線や発熱で事故、故障の原因になります。)



⚠ 注意

雷のとき

- 雷のときは早めに運転を停止して漏電保護プラグを抜いておいてください。
- 雷のときはなるべく本体に触れないでください。



⚠ 注意

入浴時

- 本機の温度表示は目安としての温度ですので、実際の温度と異なる場合があります。入浴時には湯加減を確かめてから入浴してください。
- 入浴するときは体をよく洗ってから入浴してください。特にドロ汚れや油、薬品は浄化に悪影響を与えますので十分に洗い流してください。また、体に付着している菌を浴槽に持ち込むと菌が繁殖して菌による疾病を起こす原因となることがありますので注意してください。
- 入浴前にかけ湯をしてください。かけ湯は体の汚れを流すことと、浴槽内のお湯の入れ替えを促進するために重要です。浴槽内のお湯が長時間入れ替わらないと、菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因となることがありますので注意してください。
- 浴槽にタオルを入れないでください。お湯が汚れたり菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因となることがあります。また、タオルが入水口に詰まり故障の原因となることがあります。
- 浴槽のお湯は飲まないでください。細菌などで疾病を起こす原因となることがあります。
- 浴槽内のお湯をシャワーに使用しないでください。浴水のエアロゾル（目に見えない水粒子）が発生した場合に細菌を吸い込み疾病を起こす原因となることがあります。
- 体に傷、化膿症のある方は患部を浴槽内のお湯につけないでください。傷口から菌が入ったり、傷口から浴槽に菌を持ち込んだりすることがあり感染の原因になることがあります。
- 体調のおもわしくない方は気泡浴を使用しないでください。浴水のエアロゾル（目に見えない水粒子）が発生した場合に細菌を吸い込み、疾病を起こす原因となることがあります。また、血圧の上昇などにより思わぬ事故の原因になることがあります。

⚠ 注意

点検・お手入れ

- 本機の点検・お手入れは必ず定期的に行ってください。
- 浴槽に付着した湯あかや汚れは、毎日の入浴後にスポンジなどでふき取ってください。浴槽に湯あかや汚れが付着していると細菌などが繁殖しやすくなり菌による疾病を起こす原因になることがあります。
- フィルターは毎日洗浄してください。
- 浴槽のお湯の入れ替えは1週間に一度行ってください。長期間浴水を入れ替えなかったり、浴水が濁ると菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因になることがあります。お湯の入れ替えを行うときには浴槽の掃除も行ってください。
- ろ過材の洗浄は1ヶ月に一度行ってください。
- 配管の洗浄は6ヶ月に一度行ってください。配管洗浄するときには浴槽の掃除も行ってください。
- 紫外線ランプ交換が点灯または点滅したら、紫外線ランプとグロー球を交換してください。
- 循環風呂釜のパイプは市販の風呂釜洗浄剤でこまめに掃除してください。尚、風呂釜や浴槽の掃除のときは本製品の使用を中止し、お湯を抜いてから行ってください。
- 入浴しないときは浴槽の蓋をしてください。

1 安全のために必ずお守りください

お願い

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは配管、ろ過材、トップフィルターを洗浄し、本体内の水を抜き乾燥させて保管してください。

浄化の促進のために

- 本機は微生物による浄化方式です。浄化の安定には時間がかかります。
- 浄化性能が安定するまで静音運転を使用しないでください。循環量が減り浄化の安定が遅くなります。
- 設置直後、ろ過材の洗浄の具合によって浴水が白濁することがありますが、異常ではありませんのでお湯を入れ替えるなどして継続してご使用ください。なお、新しいろ過材は袋から出したときによく洗ってください。
- 水道水以外の水をご使用になる場合、水質によっては濁ることがあります。また、一度に多数の方が入浴された場合、浴水が濁ることがあります。その場合には浴水の交換時期を早めてください。
- 体についた石鹸やシャンプーなどは浴水の濁りの原因となりますので、よく洗い流してください。
- 薬を常時服用されている方やアトピー性皮膚炎の方などが入浴する場合、フィルターやろ過材の洗浄、交換の時期が通常より早まることがあります。

洗浄、入浴剤の使用

- 浴槽内でシャンプー、洗剤を使用しないでください。
- 指定以外の入浴剤、果物や薬草、温泉水、飲用に不適な井戸水を使用しないでください。
(浄化能力が低下したり、配管を傷めることがあります。)
- 浴槽を洗浄するときは、本体内に洗剤が入らないよう注意してください。

補助用具

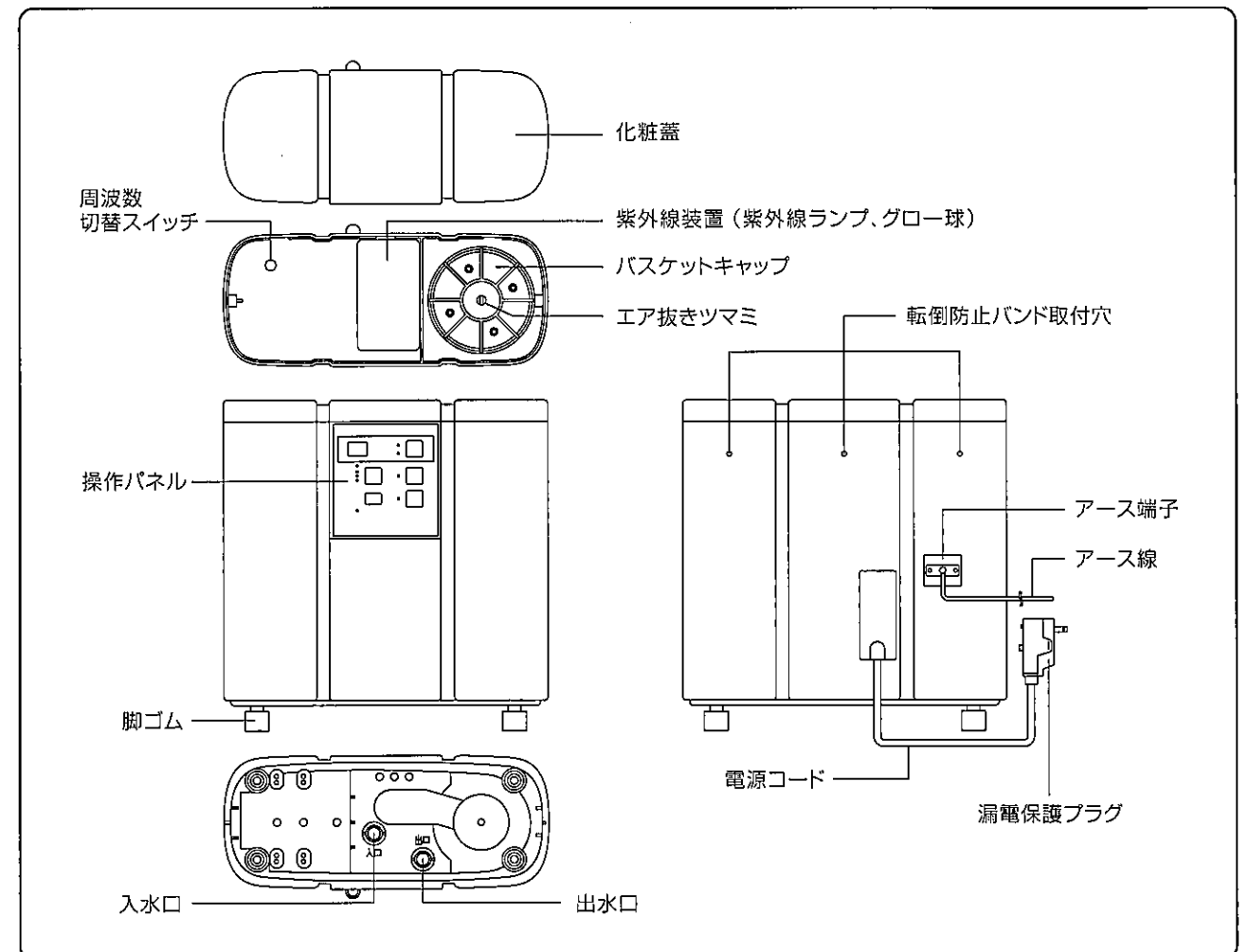
- 本機の付属品および指定のもの以外は使用しないでください。

レジオネラ属菌について

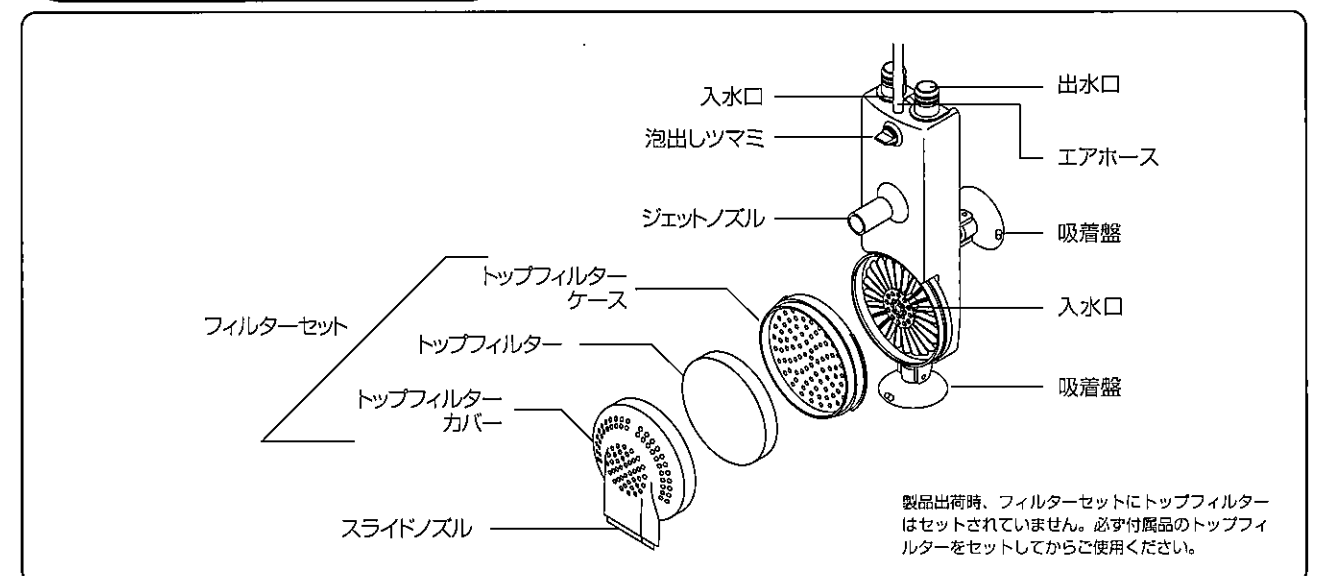
- レジオネラ属菌は自然界の土壌や淡水（川、湖）20℃以上の水の停滞または循環している人口環境水にも生息し、日常生活で接触する可能性の高い菌で41菌種が確認されていますが、健康な成人の場合には、菌と接触しても発症することは少ないとされています。
- 感染する可能性があるのは、菌が生息する砂塵や菌に汚染された目に見えない水粒子を呼吸器に吸い込まれたような場合で、菌の混じった浴槽水に触れたりしただけでは発症することはありません。人から人への感染はありません。
- 特に注意しなければならないのは免疫力の低い方で、新生児、病弱な高齢者、病気治療のために免疫力の低下している方などは、発症すると肺炎を主症状とする、高熱、咳、悪寒などの臨床症状が現れます。
- 感染を防ぐためには取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いいただくことが大切です。

2 各部のなまえ

本体

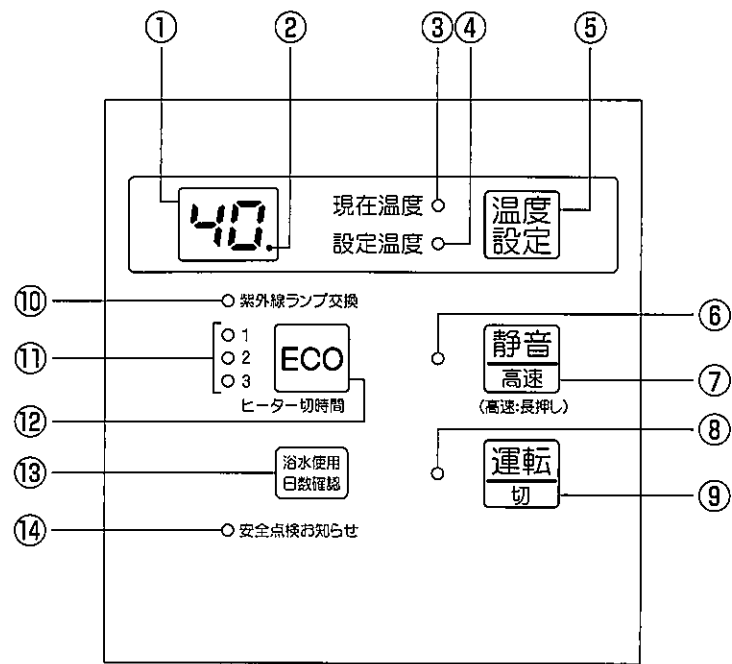


泡出しユニット（付属品）



2 各部のなまえ

操作パネル



①温度表示部

- ・浴水温度を表示
- ・設定温度を表示
- ・浴槽水の使用期間を表示
- ・エラー表示・エコモードの設定時間表示

②ヒーターランプ

ヒーター通電中に点灯

③現在温度ランプ

温度表示部に現在の温度を表示しているとき点灯

④設定温度ランプ

浴水温度設定中に点灯
このとき温度表示部に設定温度を表示する

⑤温度設定スイッチ

- ・浴水の温度を設定 (37~45℃またはヒーターOFF)
- ・「OF」表示のときはヒーター切で運転

⑥静音運転ランプ

静音運転中：点灯
通常運転中：消灯
高速運転中：点滅
高速運転禁止中：周期の長い点滅

⑦静音運転スイッチ

- ・約10時間静音で運転する
- ・長押しすると高速運転する

⑧運転ランプ

- ・運転中に点灯
- ・エラー時点滅

⑨運転スイッチ

- ・運転の入/切
- ・エラーのリセット

⑩紫外線交換ランプ

紫外線ランプの交換時期に点灯または点滅します

⑪ECOランプ

ECOモード運転中に点灯

⑫ECOスイッチ (ページ24参照)

- ・入浴しない時間帯はヒーター切運転を行い、節電運転します
- ・初期設定では、ランプ1個点灯毎に5時間の節電運転を行います
- ・ECOモードの設定時間を変更するときにも使用します

⑬浴水使用日数確認スイッチ (ページ25参照)

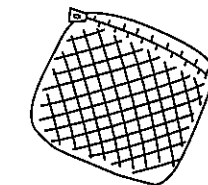
- ・浴水の使用日数を確認したいときに押します
- ・浴水を交換したとき、使用日数のクリア操作にも使用します

⑭安全点検お知らせランプ

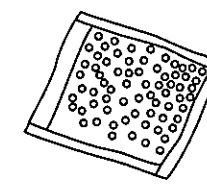
- ・お客様に安全点検をお知らせするランプです
- ・このランプが点滅したら必ず、販売店に安全点検を依頼してください (点検は有料です)
- お客様に製品を安全に長期間ご使用いただくため、「長期使用安全点検・表示制度」の主旨に準じて、製品の経年劣化等による製品の重大事故を防止するための機能です。

付属品

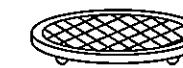
※は消耗品 () 内は入数。



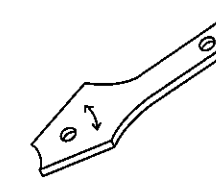
※ろ過材ネット (2)



※ろ過材 (2)



バスケット底網 (1)



ハンドル (1)



シリコンエルボ (2)



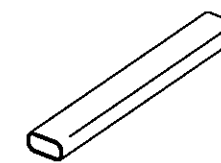
ホース連結管 (2)



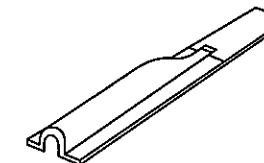
樹脂エルボ (4)



ホースバンド (3)



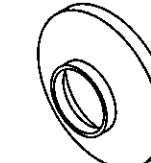
ホースガイド (2)



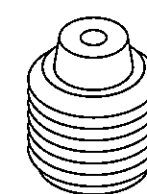
ホースカバー (1)



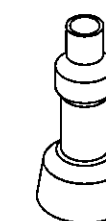
※トップフィルター (2)



通水アダプター (1)



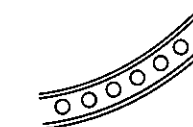
通水ポンプ (1)



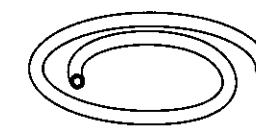
むかえ水
アタッチメント (1)



アース線 (1)



転倒防止バンド
(40cm) 1本



ホース2m (2)



タッピンねじ (2)



平ワッシャ (4)

3 設置のしかた

電気工事

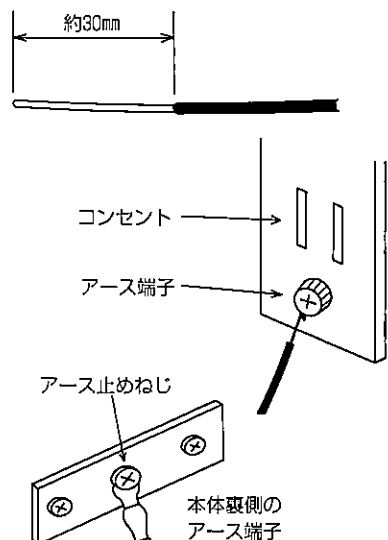
このページは、販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

アース工事

- 万一の漏電のときのために必ずアースを接続してください。
- 付属のアース線をコンセントのアース端子に接続するか、又はアース棒（市販品）を打ち込んでから本体裏のアース端子に接続してください。
- アース接続作業は、次の要領で正しく行ってください。

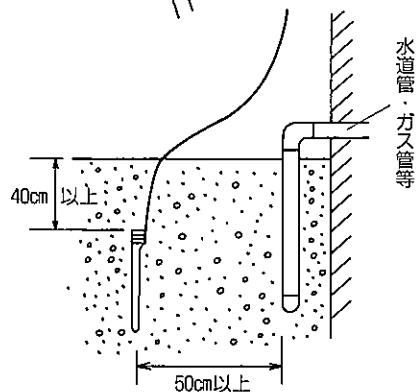
コンセントのアース端子に接続する場合

- ①アース線の芯線をコンセントのアース端子に確実に固定する。
- ②本体裏のアース端子に付属のアース止めねじでアース線を接続する。
 - アース止めねじは緩みのないように、プラスドライバーでしっかり締め付けてください。

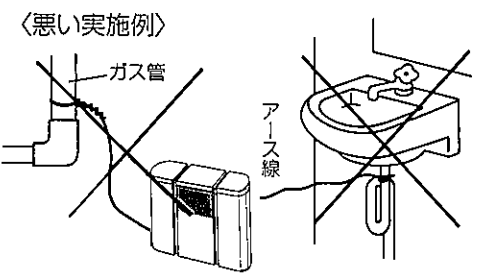


アース棒を使用する場合

- ①できるだけ日陰など湿気が多い地面を選ぶ。
- ②地面を約40cm位掘る。
- ③アース棒を打ち込む。
 - アース棒の上端から地面まで、40cm以上になるよう打ち込んでください。
 - 近くに水道管、ガス管が埋まっている場合50cm以上離してください。
- ④本体裏のアース端子に付属のアース止めねじでアース線を接続する。
 - アース止めねじは緩みのないように、プラスドライバーでしっかり締め付けてください。



アース工事は電気工事士の有資格者が行ってください。法令によりD種接地工事が義務づけられています。（より安全をはかるため接地抵抗は100Ω以下にしてください。）



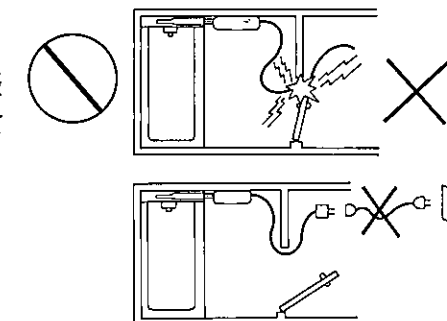
水道管・ガス管等への接続は絶対におやめください。

このページは、販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

電源電線を浴室外へ引きだす

注意

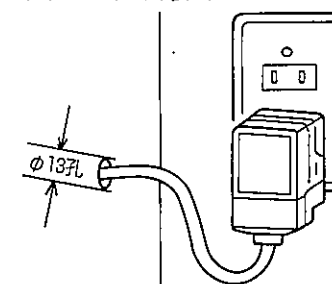
- 電源電線を浴室外へ引き出すには以下のことに注意してください。
 1. 電源はAC100Vです。
 2. 電源は専用回路（15A以上）でご使用ください。又、他の機器との兼用はおやめください。
 3. コード貫通部が金属等で電線に傷が付く恐れがある場合には保護パイプ、塩ビパイプ（いずれも市販品を購入してください）等を使用してください。
 4. 電源コードは市販のコード押さえでしっかり固定してください。
 5. 屋外にコンセントをつける場合は、電気工事店に相談し防雨型プラスチックボックス等を取り付けてください。
 6. 戸やドア等に電線を挟み込まないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用をしないでください。



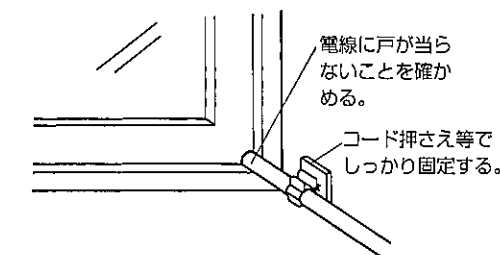
延長コードを使用した場合、電圧降下により装置の性能が低下することがあります。また、コードの種類によっては発熱し、火災等の原因となる恐れがあります。

工事例

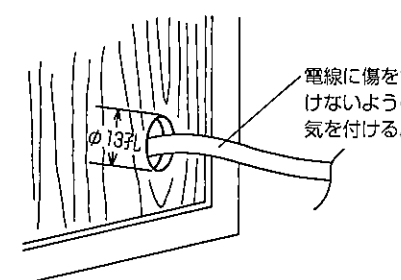
例1) 壁に穴をあける方法



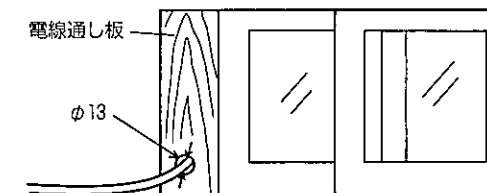
例2) 戸のコーナーを切りかいて電線を通す方法



例3) 戸に穴をあける方法



例4) 窓に電線通し板を設け、屋外のコンセントを利用する方法



3 設置のしかた

電気工事

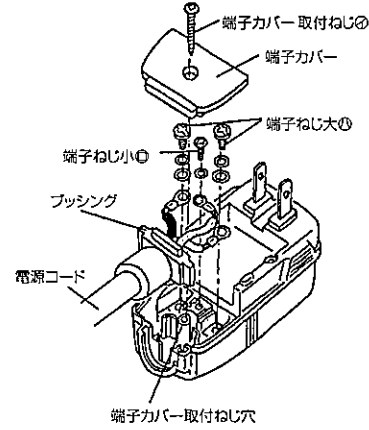
このページは、販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

電源コードを穴に通す方法

次のように漏電保護プラグを電源コードから取外し、電源コードを穴に通した後、電源コードを漏電保護プラグにしっかりと取付けます。

1 電源コードを漏電保護プラグから取外す。

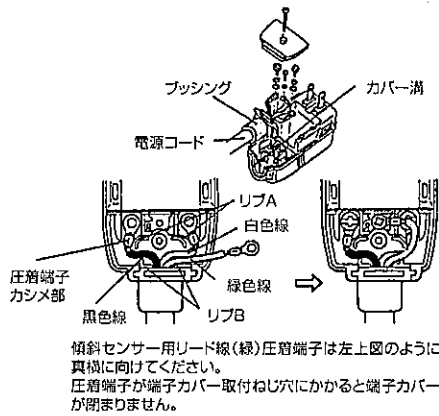
- 1) 漏電保護プラグの端子カバー取付ねじ①(1本)を外す。
- 2) 端子カバーを外す。
- 3) 端子ねじ小②(1本)を外す。
- 4) 端子ねじ大④(2本)を外す。
- 5) プッシングと電源コードを漏電保護プラグから外す。
- 6) プッシングを電源コードから抜き取る。



2 電源コードを壁などの穴および硬質ビニル管または耐水性の絶縁管などに通す。また、必要に応じて本体のアース線も電源コードと一緒に通す。

3 電源コードを漏電保護プラグに取付ける。

- 1) 電源コードをプッシングに通す。
●プッシングの向きを間違えないように取付けてください。
- 2) プッシングをカバー溝にはめる。
- 3) 電源電線(白、黒)をリップA、リップBの間に右図のように挿入する。



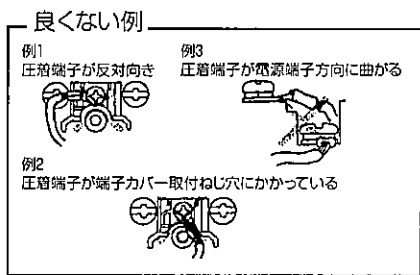
注意

- 電源電線(白、黒)は必ずリップA、リップBの間を通るように挿入してください。誤った取付け方をすると電源電線の引張強度が低下し火災の原因となることがあります。
- 緑色線は傾斜センサー用リード線であり、本体のアース線ではありません。緑色線はアースコンセントなどに接続しないでください。

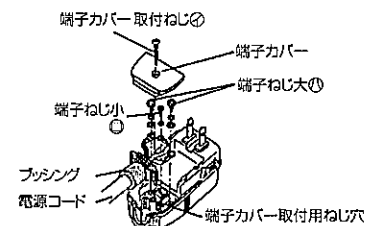
- 4) 電源電線(白、黒)の端子ねじ大④(2本)で締め付ける。
(締め付けトルク7~9kgf·cm)

注意

- 圧着端子カシメ部は必ず上向きにして締め付けてください。端子ねじ大④(2本)および端子ねじ小②(1本)はしっかりと締め付けてください。締め付けが不完全だと感電や火災の恐れがあります。



- 5) 端子カバーを端子カバー取付ねじ①(1本)で締め付ける。
(締め付けトルク5~8kgf·cm)

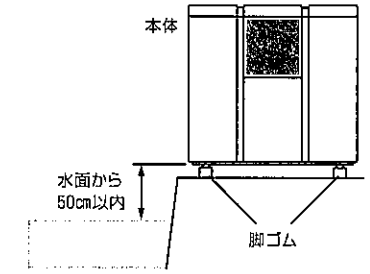


本体の設置

このページは、販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

注意

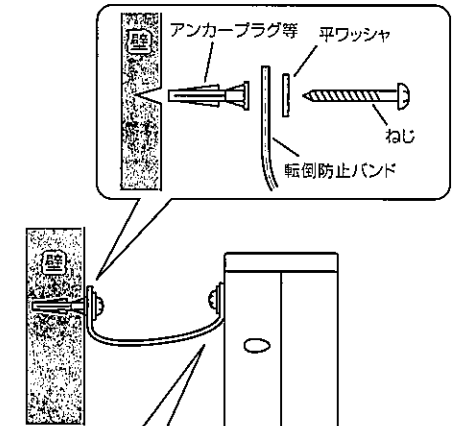
- ①水平で安定した場所に設置してください。
- ②本体が安定するように脚ゴムを回して、高さ調整してください。
- ③本体底部と浴水面の距離は、高さ50cm以内になるよう設置してください。
- ④本体を壁、カウンター等の中に設置する場合は、本体が完全に隠れないようにしてください。
- ⑤落下、転倒しないようにしっかり固定してください。



※人工大理石ボード(別売品)の上に本体を設置する場合は、ページ34の本体底面寸法図を参考にしてください。

本体の固定

- ①本体の設置場所を選び、脚ゴムを回して本体を水平に設置してください。
- ②本体後面の転倒防止バンド取付穴に、転倒防止バンドを取り付けてください。
●転倒防止バンド取付穴は3ヶ所のうち、2ヶ所に取り付けてください。
●バンドは設置状況に合わせ、適当な長さに切って使用してください。



- ③壁面に市販のアンカープラグ等を用いて、転倒防止バンドを固定して下さい。

- 固定ねじと転倒防止バンドの間には必ず付属の平ワッシャを入れて下さい。

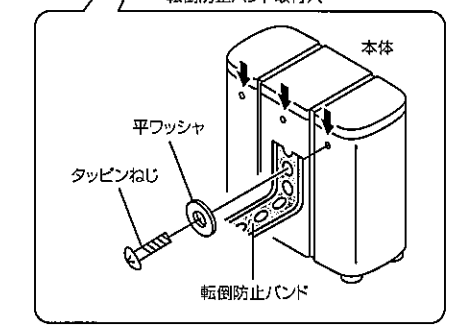
※平ワッシャを入れずに固定すると、転倒防止バンドが抜けるおそれがあります。

- 本体の固定が終了したら必ず、紫外線殺菌灯の周波数設定を行ってください。本体化粧蓋を外し、天板左側孔の透明キャップを外すと切替ができます。

(工場出荷時は50Hzにセットされています)

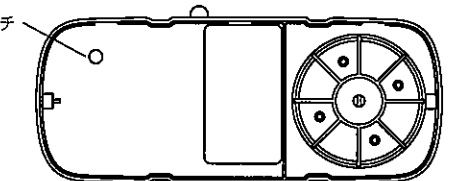
※切換後は必ず透明キャップを取り付けてください。

周波数切替スイッチ
60Hz ↔ 50Hz



【ご注意】

周波数を間違えたまま使用すると、殺菌能力が発揮できなったり、紫外線ランプの寿命が短くなる場合があります。設置後、本体操作パネル部の「紫外線ランプ交換」ランプが点滅している場合は、切替スイッチの位置を確認して下さい。



3 設置のしかた

このページは、販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

泡出しユニットの設置

①ホースカバーを浴槽の幅に合わせて切断してください。

●ホースカバーは組立式です。2つの部品を組み合わせて使用してください。

②ホースガイドを設置場所のスペースに応じて切断してください。

③泡出しユニットの3個の吸盤を浴槽に押しあてて取り付けてください。

●追い焚き釜等がある場合は泡出しユニットをお湯の出口から10cm以上離して取り付けてください。

④ホースカバーに入水口ホース、出水口ホース、エアホースを通します。

⑤ホースカバーの裏に付属の両面テープを貼り、浴槽に固定してください。

●接着面の水分や汚れは拭き取っておいてください。

⑥入水口、出水口ホースを適当な長さに切り、ホースガイドに通してください。

⑦入水口、出水口ホースをそれぞれ本体底面の入水口、出水口に接続してください。

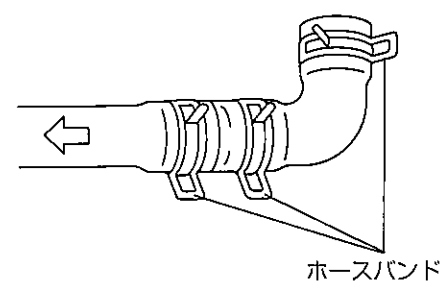
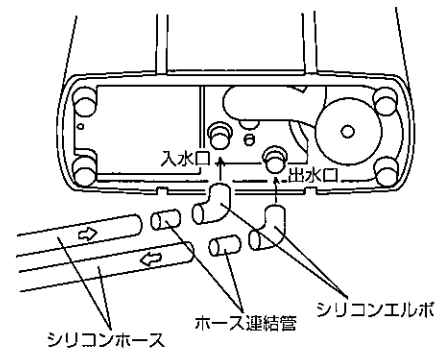
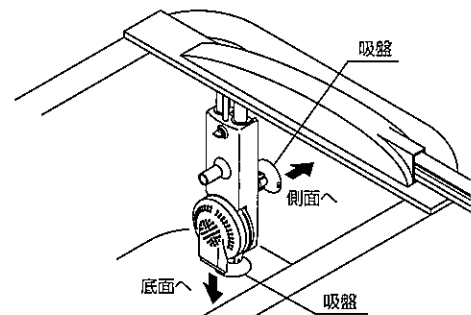
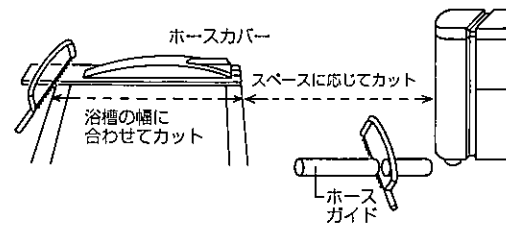
●入水口、出水口のキャップは取り外してください。

●ホースの接続は設置場所に応じて付属のエルボを使用してください。

●ホースがねじれたり折れたりしないよう注意してください。

⑧出水側のホースの繋ぎ目を付属のホースバンドで固定してください。

●ホースバンドのツマミの位置は横方向に向けてください。（下方向にすると設置面にキズが付く恐れがあります。）



4 操作のしかた

運転の手順

●はじめて運転するときには次の手順で行ってください。

●注意事項はよく確認してください。

1. ろ過材のセット

①ろ過材をろ過材ネットに入れ、水道水ですすぎ洗いしてください。

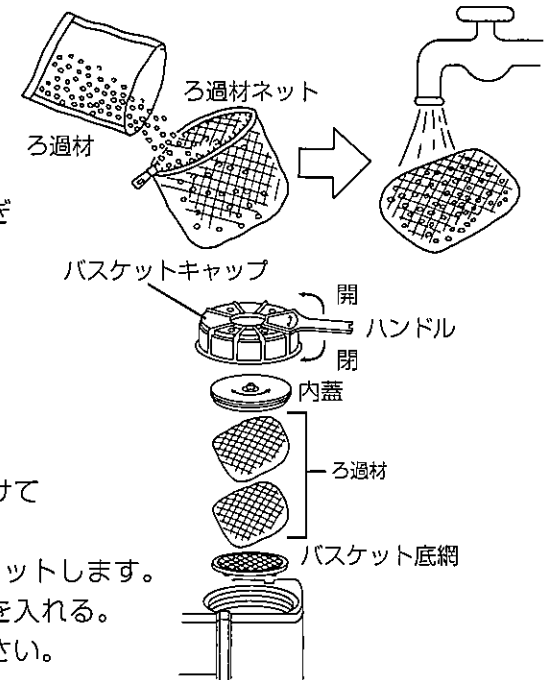
②化粧蓋を外し、付属のハンドルでバスケットキャップと内蓋を外してください。

③バスケットにバスケット底網を突起を下に向けて入れます。

④ろ過材の入ったろ過材ネット(2袋)を本体にセットします。

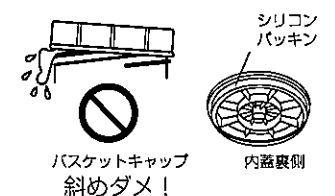
⑤バスケットに内側横の丸い穴がつかるまで水を入れる。

⑥内蓋をしてバスケットキャップを閉めてください。



⚠ 注意

- バスケットキャップと内蓋は本体と水平になるように閉め、専用ハンドルで締めてください。
- バスケットキャップと内蓋を斜めに付けたり、確実に締まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。
- 内蓋を取外しときは水漏れ防止のため、内蓋のシリコンパッキンが外れていないか、または傷んでいないか確認してください。



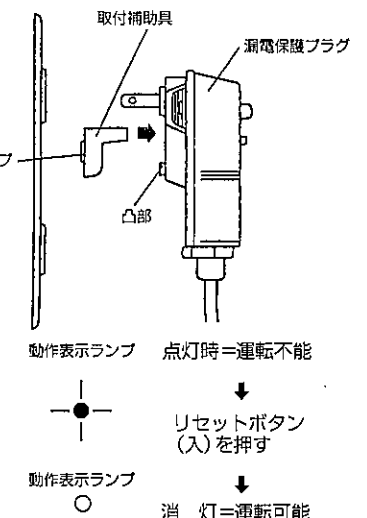
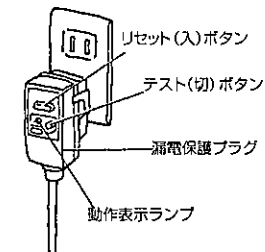
漏電保護プラグの取付け

- 漏電保護プラグは付属の取付補助具を使用して電源コンセントにしっかり取付けてください。
- 漏電保護プラグは確実に差し込んでください。
- 漏電保護プラグは逆さに差し込まないでください。

取付補助具の位置を決める方法

- 1) 凸部に位置を合わせる。
- 2) 両面テープの保護紙を剥がす。
- 3) 漏電保護プラグと電源コンセントに差し込み全体をよく押さえる。
- 4) 漏電保護プラグを電源コンセントから抜く。

スイッチの名称



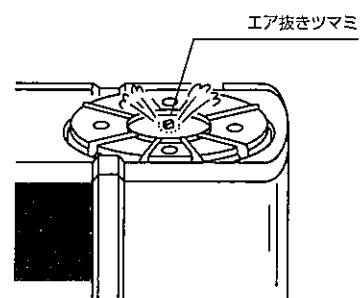
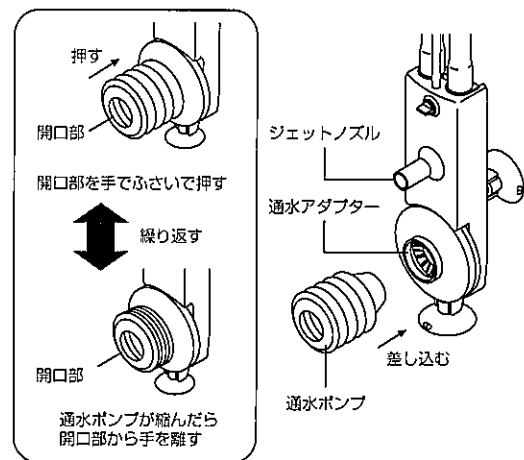
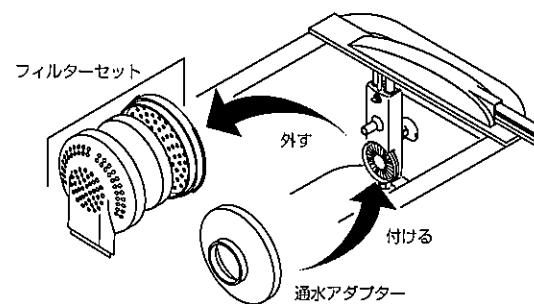
動作表示ランプ 点灯時=運転不能
↓
リセットボタン(入)を押す
↓
動作表示ランプ 消灯=運転可能

4 操作のしかた

準備運転

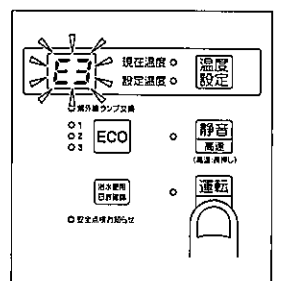
- ① 泡出しユニットからフィルターセットを外し、通水アダプターを取り付ける。
- ② 浴槽にお湯をためる。
 - 水面がジェットノズルの上にくるまでためてください。
 - 50℃以上の熱湯を直接入れないでください。泡出しユニットが変形することがあります。
- ③ 漏電保護プラグをコンセントに差し込み、プラグのリセットボタンを押す。
 - 動作表示ランプが消灯します。
- ④ 操作パネルの運転スイッチを押してください。
- ⑤ 通水アダプターに通水ポンプを差し込んでください。
- ⑥ 通水ポンプの開口部を手でふさぎ、通水ポンプを泡出しユニット側へ押さえつけるようにして、お湯を送り込み、むかえ水を行います。
 - 通水ポンプを押さえてジャバラが縮んだら、開口部から手を離します。
 - この動作をジェットノズルからお湯が噴き出るまで繰り返してください。

※むかえ水は、20,21ページのA・Cの方法でも行えます。
- ⑦ お湯が循環し始めたら通水ポンプと通水アダプターを外し、必ずフィルターセットを泡出しユニットへ取り付けてください。
- ⑧ バスケットの内蓋中央のエア抜きツマミをゆるめ、バスケット内の空気を抜いてください。
 - エア抜きツマミが強く締まって回せない場合はハンドルの先端のくぼみを使用すると容易にゆるめることができます。
 - 空気が抜けて水が噴き出してきたら速やかにエア抜きツマミを締めてください。(強く締めすぎないでください。)
 - 噴き出た水は、タオル等で拭きとってください。



お知らせ

パネルの温度表示部に「E3」が点滅したら、運転スイッチを押し(リセット)ノズルからお湯が噴き出すまでむかえ水を繰り返してください。「E3」点滅は本体内部にお湯が循環していないという信号です。



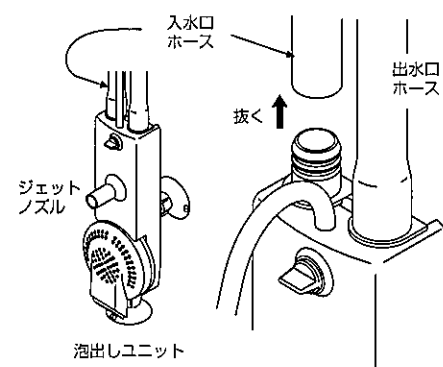
お知らせ

運転開始時、ポンプから大きな音がする場合がありますが運転開始後、音が止まれば異常ではありません。これは本体内部に浴水が完全に入っていないために起こる現象です。

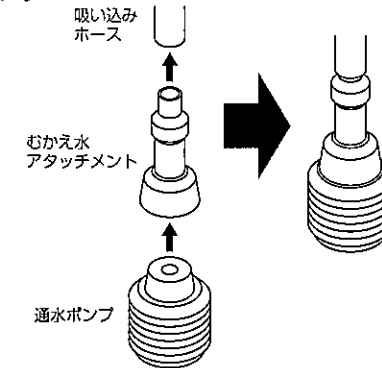
むかえ水の方法

A 設置直後や本体に大量の空気を吸い込んだとき、本体内部には少量の水しか存在しないため運転スイッチを押しても循環ポンプが空回りして循環できないことがあります。次の方法で本体に水を送りこみ“むかえ水(呼び水)”を行ってください。

1 泡出しユニットから入水口ホースを抜く。

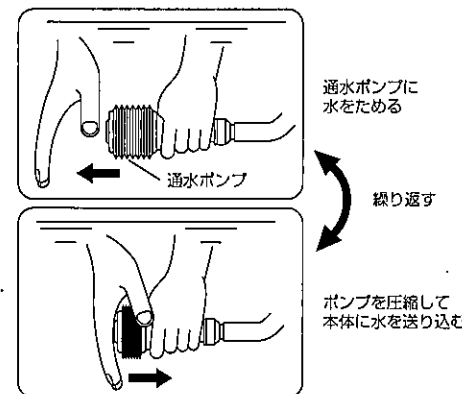


2 抜いた入水口ホースに付属品のむかえ水アタッチメントと通水ポンプを差し込み、浴水に浸けてください。



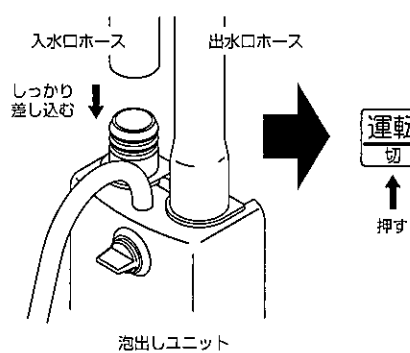
3 本体に水を送りこみます。

泡出しユニットのジェットノズルから水が出てくるまで、水中で通水ポンプを繰り返し動かしてください。



4 入水口ホースを泡出しユニットに接続する。

- ① 水中で入水口ホースからアタッチメントを外す
- ② 水中で入水口ホースを泡出しユニットに接続する
- ③ 運転スイッチを押して運転を開始する

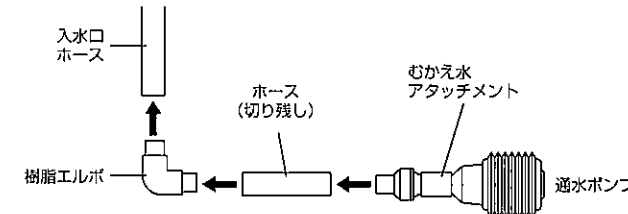


最後に、入水口ホースと出水口ホースが泡出しユニットにしっかり差し込まれているか、もう一度確認してください。

配管が長い場合や本体が水面より高い場合はポンプを動かす回数が多くなります。

入水口ホースが短い場合

設置状況によって入水口ホースが短い場合は、付属の樹脂エルボとホースの切り残しを図のように接続してください。



運転開始後、エラー「E3」を表示して循環が停止する場合は

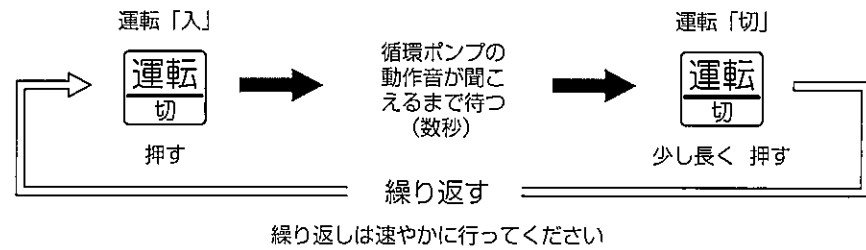
Bを行ってください。

4 操作のしかた

むかえ水の方法

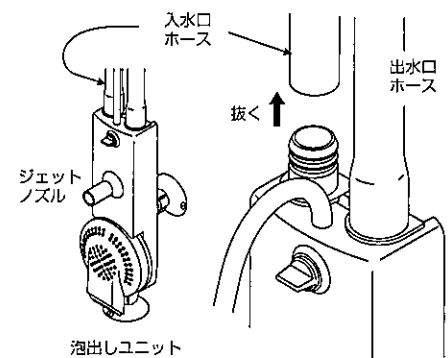
B 運転を一度停止して浴水の入替えやフィルターセットを付け直した後、運転スイッチを押しても循環を再開しないときは次の手順を行ってください。

■泡出しユニットのジェットノズルから空気や浴水が出てくるまで、運転「入」・「切」を繰り返してください。



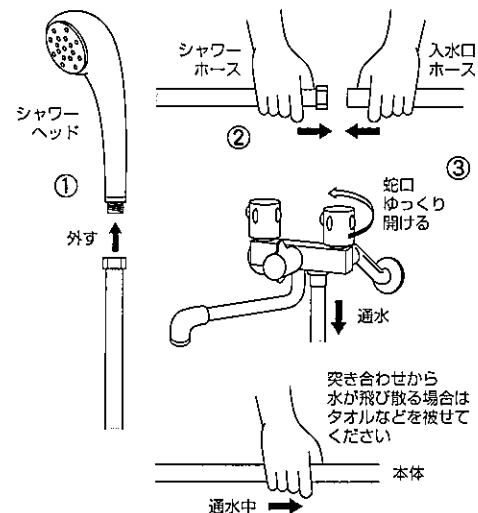
C 泡出しユニットの近くにシャワー水栓がある場合は、シャワーホースを利用して水道水を直接、本体へ送り込めます。

1 泡出しユニットから入水口ホースを抜く。



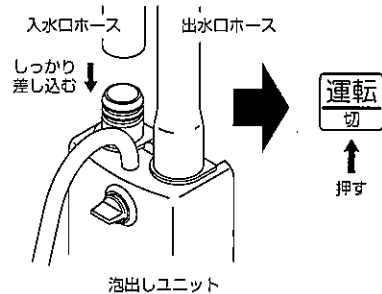
2 水中でシャワーホースを使って本体に水を送り込む

- ①シャワーヘッドを外す
- ②水中でシャワーホースを入水口ホースに突き合わせる
- ③合わせ目をしっかりおさえ、シャワーの蛇口をゆっくり開けて水道水を通水する
- ④ジェットノズルから水が出てきたら通水終了です



3 入水口ホースを泡出しユニットに接続する。

- ①水中で入水口ホースを泡出しユニットに接続する
- ②運転スイッチを押して運転を開始する



最後に、入水口ホースと出水口ホースが泡出しユニットにしっかり差し込まれているか、もう一度確認してください。

- ・シャワーのパッキンをなくさないよう注意してください。
- ・蛇口はいきなり大きく開けず、ゆっくり開けて徐々に水量を増やしてください。
- ・使用後はシャワーホースとシャワーヘッドをよく洗い、元どおりに接続し直してください。

運転開始後、エラー「E3」を表示して循環が停止する場合は **B** を行ってください。

各機能

1. 運転の入切

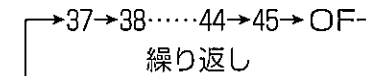
- 運転スイッチを一度押すと運転開始、停止させるときには少し長く押します。
- 運転中は運転ランプが点灯します。

2. エラーのリセット

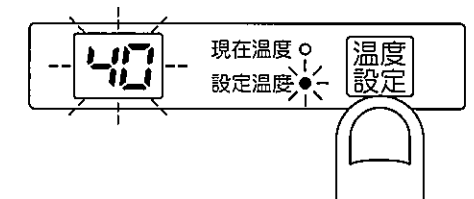
- 運転中にエラー表示が出ると自動停止します。運転を再開するときには原因を解明して運転スイッチを押します。

3. 温度設定

- ①温度設定スイッチを押すと設定温度ランプが点灯（現在温度ランプは消灯）し、温度表示部に現在設定されている温度が点滅表示されます。
- ②温度設定スイッチを一度押す毎に1℃上昇します。



●37℃～45℃までの間でお好みの温度を設定します。



- ③温度設定を「OF」にするとヒーターを切って運転します。

- ④温度設定を変更して約5秒間放置すると、設定が更新され、温度表示部は現在の温度に戻ります。

お知らせ

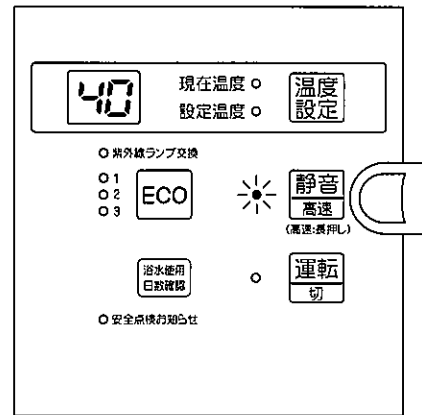
- 現在温度表示は、本体内を循環している浴水温度を表示しています。浴水に水を補給した場合、一時的に表示温度が下がることがあります。
- 設置工事のホース長さや設置条件、浴室温度、循環ポンプの発熱などの影響により、表示温度と浴水温度に差が生じる場合があります。

本機は循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用している省エネ設計となっていますので、夏期や浴室内の気温が高い時は設定温度よりお湯の温度が高くなる場合があります。このような場合には水道水を浴槽に入れ、適度な温度まで下げてください。

4 操作のしかた

4. 静音運転

- 静音スイッチを押すと約10時間静音運転します。
- 静音運転中は静音ランプが点灯します。
- 静音運転を終了すると自動的に通常運転に戻ります。
- 静音運転を途中で中止したい時は静音スイッチを押します。(静音ランプが消灯します)

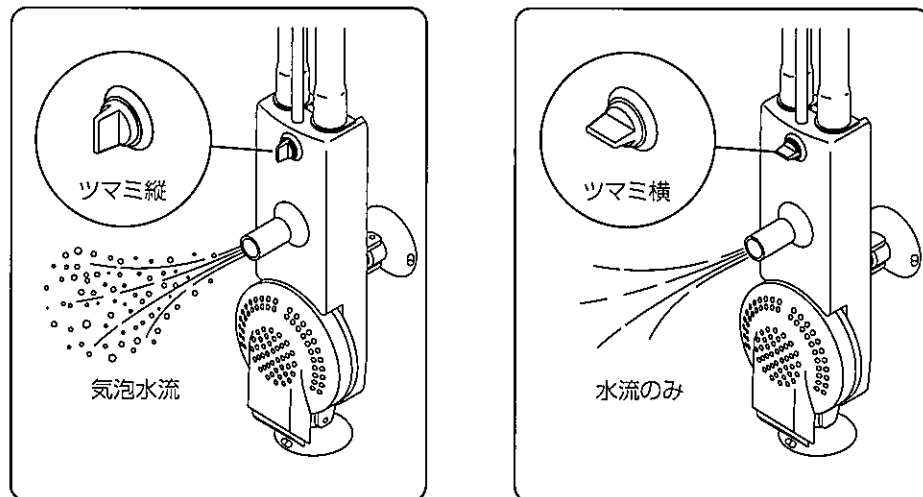


5. 高速運転

- 静音スイッチを2秒以上押すと5分間高速運転します。
- 高速運転中は静音ランプが点滅します。
- 高速運転を途中で中止したい時は静音スイッチを押します。
- 静音ランプが下記のとときは高速運転できません。
 静音運転時…静音ランプ2.5秒点灯/0.5秒消灯
 通常運転時…静音ランプ2.5秒消灯/0.5秒点灯
 (高速運転は途中で終了した場合でも1分以上使用すると、5分間は高速運転が出来ません)

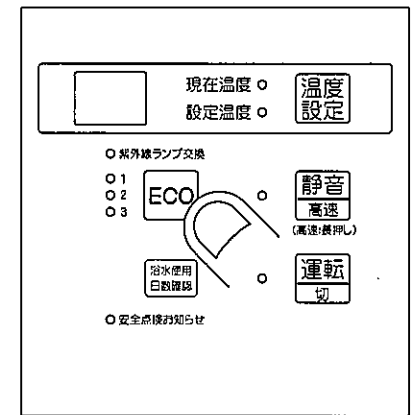
6. 気泡浴 (泡出しユニット)

- 泡出しつまみを廻すと「気泡水流」または「水流のみ」を選択できます。
- ジェットノズルは左右に動かせます。
- ◎エアホースの先端が水につかっていたり目詰まりすると、気泡は発生しません。



7. ECOモード

- ECOスイッチを押すと設定された時間だけヒーターを切って運転します。
- ECOスイッチを押す度にランプが、1点灯→1・2点灯→1・2・3点灯→消灯(解除)と切り替わります。
- 初めてお使いになる時は、ランプ1個が5時間に設定されています。
(ランプ3個点灯の場合は15時間になります)
- ランプ1個の時間を変更することもできます。
(4~8時間まで)
- ECOモードが終了すると通常運転に戻り、浴水を加熱し始めます。



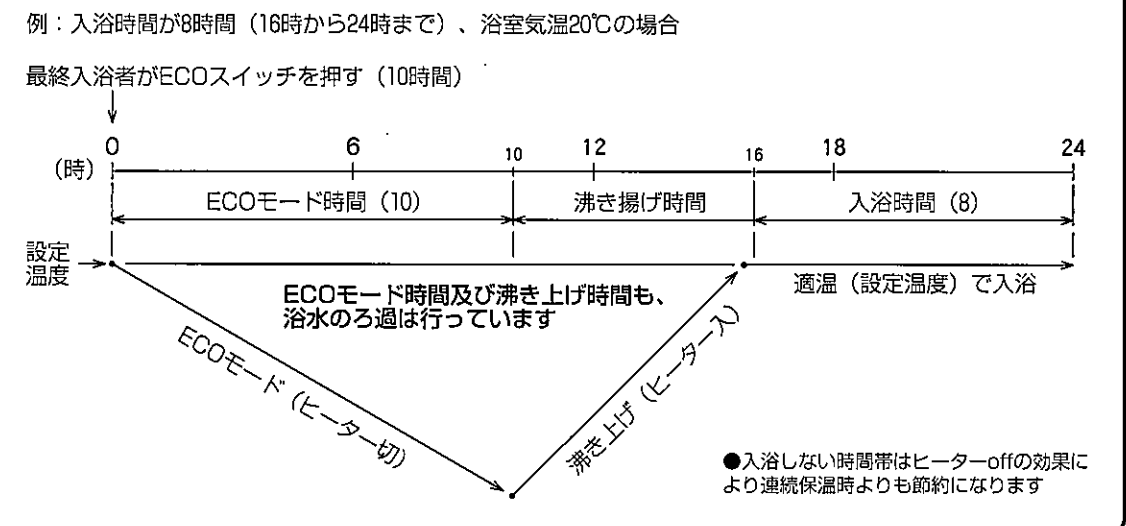
●ランプ1個の時間変更の方法

- ①ECOスイッチを3秒押す→ランプ1個の時間が温度表示部に点滅表示されます。
- ②温度設定スイッチで時間を変更してください。
- ③静音スイッチを押して決定します。
(運転スイッチを押すと変更されずに変更モードを終了します)

		ECOランプ		
		①点灯	①②点灯	①②③点灯
ランプ1個の時間	4	4	8	12
	5	5	10	15
	6	6	12	18
	7	7	14	21
8	8	16	24	

上記以外の時間は設定できません

ECOモードの動作イメージ図



4 操作のしかた

8. エコモードの使い方

1. 目安表から入浴時間①を選ぶ。
2. 浴室の気温②を選ぶ。
3. 最終入浴者が、該当する時間分のECOスイッチを押して、お風呂からあがる。

例) 16時～24時までが入浴時間、浴室温度が20℃の場合

- ・入浴時間の合計は8になります。(①)
- ・昼間等、入浴していない時間帯のおおよその浴室内気温で選びます。(②)
- ・イメージ図(P.24)の場合、目安表では10もしくは12時間になりますので、ランプ1・2を点灯させてください。(ランプ1個の時間が5時間の場合)

○入浴時間外(イメージ図(p.24)では0時～16時の間)に入浴する場合は、湯温が設定温度より下がっています。

(浴水のろ過は常時行っているため、追い焚き・足し湯等で適温にすれば入浴できます)

○浴水量、気温、設定温度等の条件により、入浴時間になってもお湯が沸き上がっていない場合があります。

(沸き上がっていない場合は、次回よりECOモードの設定時間を目安表より少なくしてご使用になるか、または追い焚き・足し湯等で適温にして入浴して下さい)

○浴水量、気温、設定温度等の条件によっては、電気代が連続保温時と殆ど変わらない場合があります。

○ECOモード設定は、ECOモード使用日毎の操作となります。連続して使用される場合は最終入浴者がその都度操作を行って下さい。

ECOモード使用時間の目安表(浴水量：200ℓ・設定温度41℃の場合)

①入浴時間 (以上～未満)	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20
②浴室の気温										
10℃	10	8	7	6	4	×				
20℃	15・16	14	12	12	10	8	6・7	5	4	×
30℃	21	18	16	15	12	10	8	7	6	4・5

×：お湯が沸き上がらないので使用不可

9. 浴水使用日数確認スイッチ

○浴水使用日数確認スイッチを押すと、浴槽水の使用日数を確認することができます。(00～99)

○浴槽水を交換したら、必ず使用日数のクリアを行ってください。

●使用日数のクリア方法

- ①浴水使用日数確認スイッチを押す
- ②使用日数の表示中(5秒間)に再度スイッチを2秒以上押してください
- ③表示部に00が表示されるとクリア完了です

5 点検とお手入れ

●安全に長く御使用いただく為に、日常の点検、お手入れを必ず行ってください。

1. 日常の点検

○お手入れのときには運転を停止してください。

○お手入れの必要な所以外は絶対に分解しないでください。

○お手入れの際は指先等を傷つけないよう十分注意してください。

○機器の配管、継ぎ手等から水漏れがないか点検してください。水漏れは機器の故障だけでなく、階下のお客様にも多大な迷惑をかけることがあります。

○機器外装の掃除

本体が汚れている場合は、布やスポンジで水拭きしてください。

ベンジン等で拭くと変色することがあります。

○浴室内を掃除するときは、機器に水をかけないでください。表示部が曇ったり、故障の原因になります。

2. 日常のお手入れ

○お湯をきれいに保つために下記のものは必ず定期的にお手入れしてください。

○浴槽のヌメリはスポンジ等で軽くこすってください。

○ろ過材の洗浄と配管の洗浄期間は汚れ具合によって異なります。

○紫外線ランプの寿命は使用頻度によって異なります。

○トップフィルター、紫外線ランプ、グロー球、ろ過材、ろ過材ネットは消耗品です。

これらのお求めの際は販売店にご連絡ください。

●浴水と本体を清潔に保つため次のお手入れを行ってください。

対象	期間
浴水の交換時期	1週間に一度
浴槽内面のヌメリ除去	毎日入浴後
トップフィルターの洗浄	毎日入浴後
ろ過材の洗浄	1ヶ月に一度
配管の洗浄	6ヶ月に一度
浴槽の洗浄	浴水の交換時に洗浄
紫外線ランプの交換時期	1年又は、交換ランプが点灯または点滅したら

※毎日の入浴回数や入浴人数、汚れ具合などにより、お手入れの頻度や交換時期が短くなる場合があります。

5 点検とお手入れ



注意

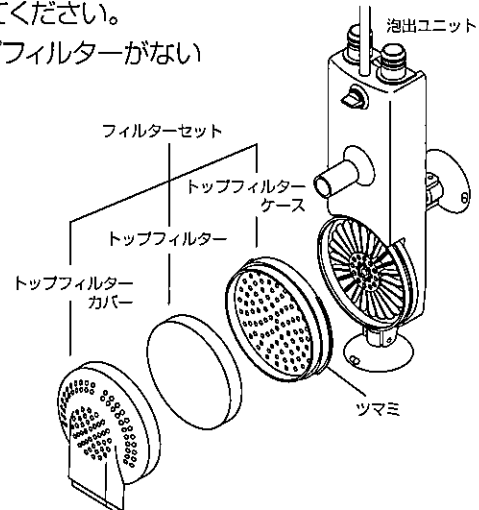
内蓋とバスケットキャップを外したままの状態または、斜めに取り付けたり
 しっかり締まっていないときに本機を運転しないでください。
 ●本体内で水漏れして本機の故障の原因になります。

3. トップフィルターの洗浄

- トップフィルターは必ず毎日洗浄してください。
- トップフィルターは消耗品です。傷んでいる場合は交換してください。
- 浴水中に大きなゴミがないことを確認してください。トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸入すると故障の原因になります。

洗浄の手順

- ①運転を停止する。
- ②泡出しユニットからフィルターセットを外す。
- ③フィルターセットを分解してトップフィルターを取り外す。
- ④流水でトップフィルターをよくもみ洗いする。
- ⑤トップフィルターに水を含ませたままフィルターセットに組み込む。
- ⑥フィルターセットを泡出しユニットへ取り付け。
 (トップフィルターケースの左右のつまみは横にして取り付けてください)
- ⑦運転を再開する。

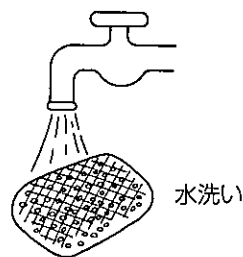
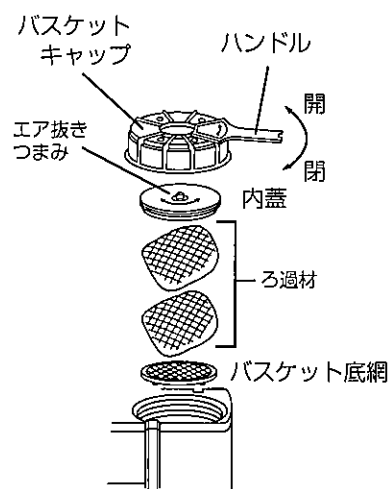


4. ろ過材の洗浄

- 1ヶ月に1度、ろ過材を洗浄してください。
- ろ過材は消耗品です。摩耗している場合は交換または、補充してください。
- ろ過材ネットが破れているときも交換が必要です。
- ろ過材の洗浄は風呂場などで行ってください。ろ過材に付着したヌメリなどで周囲が汚れる場合があります。

洗浄の手順

- ①運転を停止して付属のハンドルでバスケットキャップを外します。
 ●浴槽の水位よりバスケットキャップの位置が低い場合、バスケットキャップを外すときにバスケットからお湯があふれます。あらかじめ浴槽の水位を下げてから外してください。
 ●浴槽の水位より本機の位置が高い場合、あらかじめバスケットキャップ中央(内蓋)のつまみをゆるめ、バスケット内に空気を入れると内蓋が外しやすくなります。
- ②ろ過材(2袋)をバスケットから取り出してください。
- ③ろ過材をネットごと水洗いします。
 ●このとき、バスケットの底網もよく洗ってください。
 ●ろ過材は洗剤で洗わないでください。
- ④洗い終わったらろ過材をセットし、バスケットキャップを確実に閉めてから運転を再開してください。
 ●バスケットキャップを斜めに取り付けたり、確実に閉まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。



5. 配管の洗浄

- 汚れ具合によって異なりますが、6ヶ月に1度程度配管の洗浄を行ってください。
- 洗浄剤は別売の24時間風呂専用洗剤「クリーン24」をご使用ください。

24時間風呂専用洗剤「クリーン24」のお求めは販売店までご連絡ください。

洗浄の手順

洗浄運転

- ①運転を停止し、バスケットキャップを外してろ過材(2袋)を本体から取り出します。
 ●フィルターセットからトップフィルターを外してください。

- ②バケツ等(20リットル程度)に水と適量の洗浄剤を入れ、よくかき混ぜてください。

- ③泡出しユニットをバケツ等の中に入れ、1時間以上(できるだけ長時間)運転し、よく循環させてください。
 ●あまったホース等をジェットノズルに取り付けると水ハネをしません。

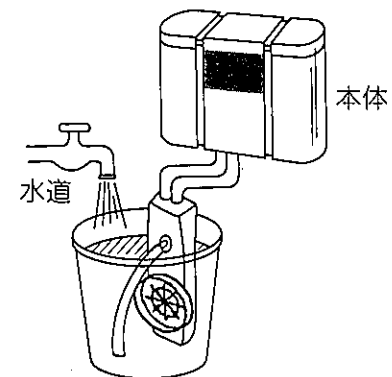
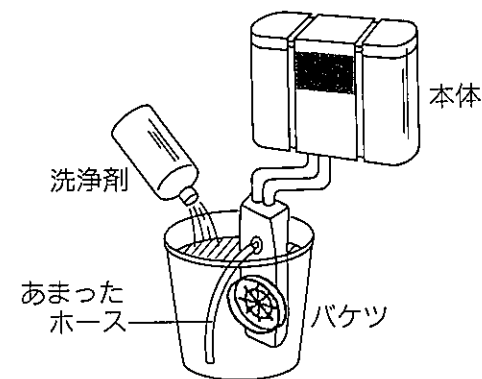
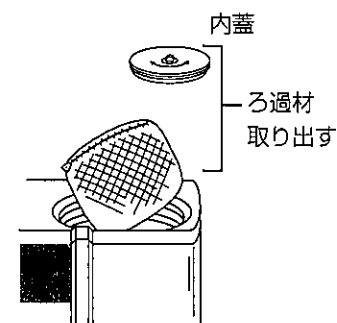
★洗浄運転するときは必ず内蓋とバスケットキャップを取り付けてから運転してください。付け忘れや、しっかり閉まっていないときに運転すると水漏れして故障の原因になります。

すすぎ運転

- ①バケツ等に新しい水を入れ、循環させてください。

- ②バケツ等の水が濁れば水を交換し、水が濁らなくなるまで繰り返します。

- ③運転を停止させ、ろ過材・内蓋・バスケットキャップを必ず取り付けてから運転を再開してください。



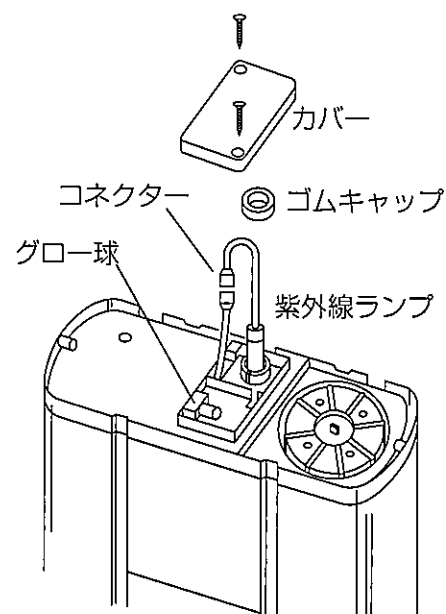
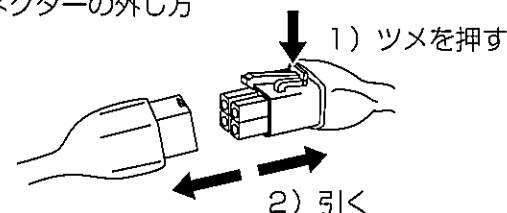
5 点検とお手入れ

6. 紫外線ランプの交換 (紫外線ランプ・グロー球のお求めは販売店までご連絡ください)

- 紫外線ランプは1年使用、または交換ランプが点灯(点滅)したら交換してください。(同時にグロー球も交換してください)
- リード線のコネクターを外すときには必ずコネクターを持って外してください。リード線を引っ張らないでください。
- 交換終了後は下記の手順で「紫外線ランプ交換」のクリア処理を行って下さい。
 - ①運転停止 → ②温度設定ボタン長押し(50点滅) → ③静音ボタン押す(00表示) → クリア完了

交換の手順

- ①運転を停止し、漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。
- ②カバーとゴムキャップを外してください。
 - カバーを外すときは⊕ドライバーでネジ(2ヶ)を外してください。
- ③紫外線ランプのリード線のコネクターを外してください。
 - コネクターの外し方



- ④紫外線ランプを取り出して新品と交換してください。
- ⑤グロー球を交換してください(グロー球は左に回すと外れます)。
- ⑥交換したら逆の順序で外した部品を組み付けてください。

注意

- ・コネクターを外すときは手をケガしないように注意してください。
- ・紫外線ランプはガラス製です。割ってケガをしないように注意してください。
- ・点灯中の紫外線ランプの光を直接見ないでください。目を痛める恐れがあります。

7. 長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときには配管、ろ過材、トップフィルターを洗浄し、本体内の水を抜き乾燥させて保管してください。
- 再び使用するときには「運転の手順」に従って運転を開始してください。

6 異常とその処置

エラー表示一覧

○修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

エラー表示	原因	処置
E1 E*1	水温センサーの故障	販売店にご連絡ください
E*2	追い焚き等による水温の上昇 過昇センサーの故障	水温を下げる 販売店にご連絡ください
E3	トップフィルターの目詰まり	トップフィルター洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
	配管内に異物が入った	異物を取り除く
	入水口、出水口を逆につないだ	正しく配管してください
	配管がねじれたり、折れ曲がったりしている	正しく配管してください
	水流センサーの故障	販売店にご連絡ください
	循環ポンプの故障	販売店にご連絡ください
E4	配管内に大量の空気が入った	むかえ水を行ってください
	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
	ヒーターの汚れ(空焚き)	配管の洗浄
EE	空焚きセンサーの故障	販売店にご連絡ください
EE	ヒーター制御回路の故障 / (制御基盤の故障)	販売店にご連絡ください
00	内部配線の接続不良	販売店にご連絡ください
47	以上点滅表示 追い焚き等による水温の上昇	水温を下げる
4*1	点滅表示 水流センサーの汚れ	配管の洗浄
何も表示しない	運転を停止させている	運転スイッチを押す
	漏電保護プラグが抜けている	漏電保護プラグを差し込む
	漏電保護プラグのランプが点灯	漏電保護プラグのリセットボタンを押す(※)
	コンセントに電気(100V)がきていない	屋内のブレーカーを調べてください

※漏電保護プラグのリセットボタンを押しても再度ランプが点灯する場合は販売店にご連絡ください。

その他の表示

HE: 能力不足表示(浴水量過多、気温低下等で保温できないときに表示されます)

8E: 販売店にご連絡ください

6 異常とその処置

症状/原因/処置

○修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
浴槽の水が濁る	追い焚き釜の汚れ	追い焚き釜の洗浄
	バスケットにろ過材が入っていない	ろ過材を入れてください
	浄化微生物がろ過材に付着していない	配管洗浄を行い水を入れ替えてください
	入浴剤や温泉水を使用した	入浴剤や温泉水を使用しないでください
	長期間運転をしなかった	配管洗浄及びろ過材の洗浄を行ってください
循環が悪くなった	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	ろ過材の目詰まり	ろ過材の洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
水温が上がらない	温度設定がOFFになっている	好みの温度に設定してください
	浴槽からの放熱が多い	浴槽を蓋等で保温してください
	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	ろ過材の目詰まり	ろ過材の洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
	ヒーターの故障	販売店にご連絡ください
	ECOモードの設定時間が長い	設定時間を変更する(時間を短くする)
水温が上がりすぎる	本機は循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用していません 夏期や浴室内の気温が高いときは、設定温度より水温が高くなる場合があります	水を浴槽に入れ、適度な温度まで下げてください
浴槽の水の減りが早い	本体から水漏れしている	販売店にご連絡ください
	浴槽の栓が緩んでいる	浴槽の栓をしっかりする

ご注意：浄化能力について
使用開始後、浄化能力が安定するまで1～2週間かかる場合があります、浴槽の水が濁ることがあります。このようなときは配管洗浄を行い水を入れ替えてください。

7 アフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店あるいは工事店から受け取っていただき、内容をよくお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年間です。

修理を依頼される時

「異常とその処置」に従って調べていただきそれでも直らないときには、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店、工事店が修理させていただきます。尚、以下の内容をご依頼時にご連絡ください。

- ①ご氏名、ご住所、電話番号
- ②製品機種名（品名）型式（本体後面に表示）
- ③製造番号（保証書及び本体後面に表示）
- ④お買い上げ年月日
- ⑤保証書の有無
- ⑥故障、異常の内容（できるだけ詳しく）
- ⑦ご訪問のご希望日

○保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

○振動の多い特別な場所等への設置による故障は、保証期間内であっても有料修理になります。

保証期間が過ぎているときは

ご希望により有料にて修理させていただきます。

ご不明な点は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

8 仕様

商品名	コロナホームジュニアⅡ	
型式	CKV-231H	
電源	AC100V 50Hz/60Hz	
定格消費電力	844W	
ヒーター	750W 間接加熱ユニットヒーター	
設置場所	屋内（浴室内）	
対応入浴人数	3～5人	
対応浴槽容量	最大 300L	
除菌方式	紫外線照射及び光触媒（24時間照射）	
浄化方式	物理浄化：トップフィルター 微生物浄化：ろ過材（セラミックス）	
水質基準	24時間風呂協会自主基準に準ずる	
	濁度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25mg/L以下
	大腸菌数	1個/1ml以下
	レジオネラ属菌	10 ² CFU/100ml未満
	検体採取方法 検査方法	24時間風呂協会自主基準に準ずる 検査方法
外形寸法	高さ435×幅430×奥行175 (mm)	
製品質量	約11kg (ろ過材別)	
別売品	<ul style="list-style-type: none"> 交換用トップフィルター：傷んだら交換 補充ろ過材：摩耗などにより減少したら補充 ろ過材ネット：痛んだら交換 交換用紫外線ランプ：約1年または交換ランプが点灯（点滅）したら交換 配管洗浄剤：配管洗浄毎に使用 	
お手入れの内容	浴水の交換	1週間に一度
	浴槽壁面のヌメリ除去	毎日入浴後
	トップフィルターの洗浄	毎日入浴後
	ろ過材の洗浄	1ヶ月に一度
	配管の洗浄	6ヶ月に一度
	浴槽の洗浄	浴水の交換時に洗浄
安全装置	紫外線ランプの交換時期	約1年または交換ランプが点灯（点滅）したら交換
	<ul style="list-style-type: none"> 循環ポンプ空運転防止機構（水流センサー） ヒーター空焚防止機構（空焚監視センサー、温度ヒューズ） 浴水温度過昇保護装置（過昇保護センサー） 漏電防止装置（漏電保護プラグ）定格感度電流6mA 過電流防止装置（管ヒューズ15A） 転倒時安全装置（傾斜センサー） 	

光触媒紫外線照射浄化システム

●ダブル制菌システム

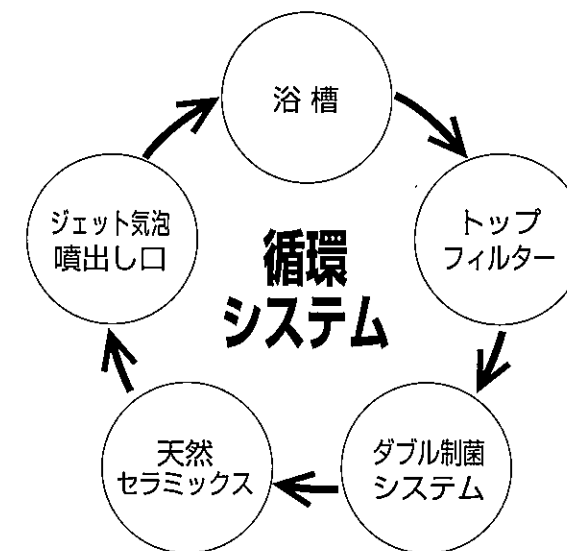
紫外線直接制菌と、浴水中を透過してきた残余の紫外線を、光触媒である酸化チタンに照射して制菌効果を補う、ダブル制菌システムを採用しています。

●トップフィルター

髪の毛、糸くず、砂、泥など、目に見えるゴミをキャッチします。

●天然セラミックス

アカ、脂肪類、汗に含まれるアンモニアなどを吸着します。さらに、不潔な有機物を水に分解します。



●別売の人工大理石ボード又はアングル材等をご使用の場合は下記の寸法を参考に穴開け等を行ってください。

本体底面寸法図

(下記図面は本体を上部から見た寸法です)

